

## オーナーblog 第8話 「神吉中学卒の“天才”がサポート！」（2023.8.17.）

盆休みは旧友と会う機会が連続した。東京の大手出版社からスクールカウンセラーになった女性、桂林理工大学の会計学教授、そして、神吉中学2回生の有名人である男性である。すべてに共通するのは“教育現場”の話題である。首都圏の中高生の心の問題、大学の試験で不合格にされたと講師を訴える保護者など、おもしろいエピソードを聞かせて頂いた。

その中で、中高時代の青春を共にして、いくせい塾最大の社会的イベントであった『**広島～長崎平和リレー**』の共同主催者 M 君との話は格別である。何をもってそう言うのか、それは、**話が現実のものに変わる**からだ。23歳の冬コタツで何となく話した「面白いことしたいな。」から始まった話題、それは、新聞にも掲載された**平和運動**を継続することになった。

彼は早熟であり、地域の秀才が集まる加古川東高校でも、皆が認める“天才”である。修学旅行中のクイズでは、正答は彼の口から次々に当てられていく。「何で分かるの？」と驚愕の連続である。話題に事欠かない彼が、退職後、ご高齢のお母さんのお世話をするために帰郷することになった。3人の息子さんは立派に成人されている。私は「**三顧の礼**」をもって迎え入れたいと考えている。私立高校での国語教諭の経歴だけでなく、スイスで7年間生活して、ヨーロッパの教育事情にも理解がある。神戸大後輩社会人や神吉事務長も同席した懇親会での彼らの感想は、話しやすく適切なアドバイスをしてくれる大人であった。

中学高校、幸いのも**尊敬する友人と学生時代を過ごす**ことができた。もう一人は、いくせい塾創立のパートナーであるH君。バスケット部の仲間であり、迷ったら正しい方向を教示してくれた。現在はソニーとの合弁会社の副社長をしている。

豊富な社会経験をもつ旧友たちのサポートは、塾生たちに『**慈恵**』を運んでくれる。